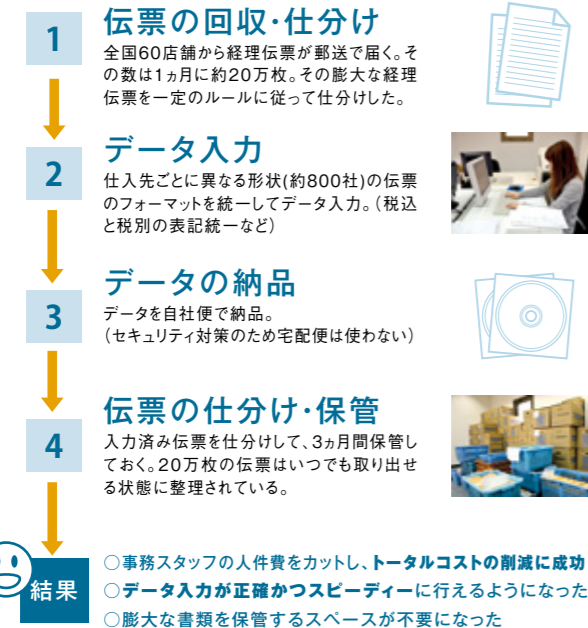


オーダーメイドのアウトソーシングサービスでコスト削減を実現

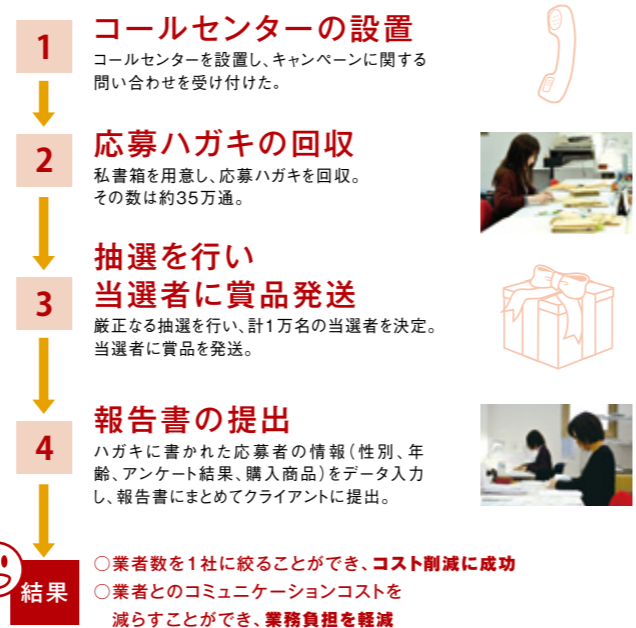
CASE1 音楽ソフト販売 全国60店舗の経理伝票を入力

クライアントのニーズ/全国60店舗分の経理伝票をデータ入力してほしい。今まで自社でデータ入力を行っていたが、事務スタッフの件数、データ入力の正確性の面で問題があった。



CASE2 大手広告代理店 大規模なキャンペーン事務局の運営

クライアントのニーズ/大規模なキャンペーンの事務局を丸ごと請け負ってほしい。それまで複数の業者に委託しており、多額の費用とコミュニケーションの時間を費やしていた。



自社の事務業務をアウトソーシングする

4つのメリット

1 “直接売上を上げる業務”へのリソース集中

企業は限られたリソースを“直接売上を上げる業務(コア業務)”だけに集中できる。

2 コスト削減

固定費だった事務スタッフの件数費を変動費にできるためトータルで見るとコスト削減になる。事務スタッフの机やパソコンなどの設備投資、人材の採用・育成コストも削減できる。

3 業務処理のスピードアップ

アウトソーシング会社は豊富なノウハウを持っているため一般企業に比べてスピーディーに業務を進められる。

4 業務のクオリティ向上

アウトソーシング会社は、プロとして業務効率や担当者の配置を定期的に見直し、高い業務クオリティを維持している。

② **コストを下げる**
事務アウトソーシング
のプロフェッショナル

事務業務を丸ごとアウトソーシングし 中長期的なコスト削減を実現

大企業から直接指名を受ける

オーダーメイドのアウトソーシングサービス

事務の業務量には波がある

データ入力、資料発送、顧客や社内業務のフォロー……。企業の成長に伴い、煩雑な事務業務は増えていく。さらに、それに付随して事務スタッフの採用・育成、業務管理、セキュリティ対策などの管理業務も増える一方だ。そんな忙しい企業に有効なのが事務業務のアウトソーシング。モバイルサービス代表の関氏は「事務業務をアウトソーシングすれば、企業はコスト削減と業務クオリティの向上を両立できる」と語る。同社は過去300社の事務業務を手がけてきた。今回は関氏に事務業務のアウトソーシングについて聞いた。



モバイルサービス
代表取締役
関 喜洋
せきの ぶひる
1972年、茨城県生まれ。飲食チェーンの人事部を経て、1996年に大手SIに転職。2002年に有限会社昭和アウトソーシングサービス(現:株式会社モバイルサービス)を設立し、代表取締役就任。

事務業務の面で
企業が抱えがちな問題を
教えてください。

関:「適正なコスト」と「高い業務クオリティ」を両立しにくい点です。企業では事務業務が突発的に増減し、業務量が安定しません。たとえば「事業拡大により業務量が30%増えた」、「キャンペーンが終了して業務量が20%減った」といったことが頻りに起きます。つまり、業務量にかなり波があるわけです。

そして業務量に波があると、「コスト」か「業務クオリティ」のどちらかが犠牲になってしまいます。たとえば業務量の多い時期に合わせて人材を雇用したとします。すると、業務量が減った時に人手が余ってしまい、ムダな人件費を支払うこととなります。逆に、業務量が少ない時期に合わせて、最小限の人材のみを配置していたとします。すると今度は、業務量が増えた時に業務クオリティが低下してしまう。せつかくのビジネスチャンス逃すことにもなりかねません。

そこで最近、事務業務をアウトソーシングする企業が増えています。アウトソーシング会社は、業務を「1件当たりいくら」で請け負っています。そのため企業は「固定費」だった事務スタッフの件数費を「変動費」だつた事務スタッフの件数費を「変動費」にできる。運用の手間がかかりますし、業務の処理スピードも遅くなります。一方、もし①から③までの工程をすべてアウトソーシングできれば、自社の運用の手間も減りますし、業務の処理スピードも速くなります。さらに、事務スタッフの採用・育成コストや、パソコン・机などの設備投資などもカットできます。結果、トータルコストを大幅に削減できるわけです。

——御社は大手広告代理店や大手メーカーなど、有名企業の手事務業務を手がけていると聞きました。数多くあるアウトソーシング会社の中で、御社の強みは何ですか?
関:3つあります。1つ目は、クライアントの業務改善をサポートしている点。一般的なアウトソーシング会社は、依頼された業務を遂行するだけです。一方、当社では過去300社の支援実績を活かし、業務改善のコンサルティングをしています。つまり、依頼された業務を遂行するだけではなく、コンサルティングから業務の実行までを一貫して手がけているんです。

2つ目は、オーダーメイドのサービスを提供している点。多くの企業はアウトソーシング会社のレベルによって、データ入力や資料発送などの単純作業しか委託できていません。一方、当社はクライアントのニーズに応じて、オーダーメイドで幅広い業務を請け負っています。たとえばマーケティング調査、コールセンターの立ち上げ、答案の採点(大学の試験)なども行っています。

3つ目は強固な情報セキュリティ体制。当社は「Pマーク」の取得はもちろん、原票の配送に自社便を使うなど、創業時から高い情報セキュリティ体制を構築しています。おかげさまで、当社のサービスの質の高さが評価され、クライアントのリピート率は100%を誇っています。

——事務業務をアウトソーシングする際のポイント
のポイントを教えてください。

関:事務業務を「丸ごと」アウトソーシングすることです。たとえばデータ処理の業務には①データの収集、②データの入力、③データの分析という3つの工程があります。多くの企業は、このうち②だけをアウトソーシングしがちです。しかし、そうすると自社スタッフが①と③の工程を行う必

アウトソーシングで
月額70万円のコスト削減

——御社にアウトソーシングすれば、どれくらいコストは下がりますか?

関:実際にあったケースをご説明しましょう。以前、あるクライアントが正社員2名と派遣スタッフ5名で作業を行っており、人件費が1ヵ月に約150万円かかっていました。そこで、当社がこのクライアントの事務業務を80万円に丸ごと請け負いました。つまり、1ヵ月につき約70万円のコストが削減できたんです。さらに人件費だけでなく、管理業務のコストも削減できました。人材の採用・育成、業務の進捗管理などのコストもなくなることができました。これらは中長期的に見ると、大きなコスト削減になります。

今後当社はこのような事務業務のアウトソーシングを行っていきます。経営を合理化したいという企業は、ぜひ当社までお気軽にお問い合わせしてほしいですね。

取材文/丸山広大 撮影/荻沼秀和

お問い合わせはこちらから

株式会社モバイルサービス 検索

<http://www.mobile-s.co.jp>

03-5645-6891

株式会社モバイルサービス

設立/2002年6月 資本金/1,000万円
事業内容/総合アウトソーシングサービス業
(データ入力、事務代行、DMサービス等)